

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

2024年6月20日

宮崎市高洲町4番地8
宮崎中央倉庫株式会社
(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	365,625	流動負債	14,516
現金	205	未払金	158
預金	358,523	前受金	5,673
未収保管料	6,275	預り金	1,326
未収運賃	44	未払法人税等	4,889
未収入金	41	未払消費税	2,468
前払費用	486	固定負債	329,217
雑流動資産	48	長期借入金	168,645
固定資産	895,110	長期預り金	160,572
有形固定資産	857,112	負債合計	343,733
建物	47,596	(純資産の部)	
建物附属設備	27,705	株主資本	917,003
構築物	5,142	資本金	10,000
什器備品	464	資本剰余金	11,027
車輦	0	資本準備金	11,027
土地	776,204	利益剰余金	895,976
無形固定資産	350	利益準備金	2,500
電話施設利用権	350	別途積立金	158,840
投資その他の資産	37,647	従業員退職積立金	1,294
投資有価証券	37,647	繰越利益剰余金	733,341
資産合計	1,260,736	純資産合計	917,003
		負債・純資産合計	1,260,736

(個別注記表)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

移動平均法に基づく原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用している。

2016年度税制改正により、2016年4月2日以降に取得した建物、建物附属、構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更している。

尚、主な耐用年数は次のとおりである。

建物、建物附属及び構築物	8年～31年
器具備品及び車輛運搬具	2年～15年

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の種類および株式数

普通株式 140,000株

3. 当期純利益金額

当期純利益 37,118千円